

## 平成 28 年度 第 1 回 学術情報ネットワーク運営・連携本部会議 議事要旨

日時：平成 28 年 10 月 24 日（月）15:00-17:15

場所：国立情報学研究所 20F 実習室（2001A・2001B 室）

議事：

### 1. SINET5 について

漆谷委員から、資料 3 に基づき、H28 年 4 月から本格運用を開始した SINET5 の運用状況等について報告があった。

- ・ 学術コミュニティから暖かいご支援をいただき、高性能・高信頼な学術情報基盤を実現できた。5 月には、SINET5 開通式を挙行し、富岡 文部科学副大臣、里見 国立大学協会会長（東北大学総長）、西尾 文部科学省学術情報委員会主査（大阪大学総長）、大西 日本学術会議会長（豊橋技術科学大学学長）をはじめ、多くの関係者からご祝辞・ご臨席を賜った。皆様のご支援に改めて厚く御礼申し上げたい。
- ・ SINET5 開通式での無圧縮 8K 動画の転送デモでは、超高精細動画による高臨場感に多くの驚嘆・好評をいただいた。8K や 4K 動画の利用は、例えば教育や遠隔医療等の分野で大きなインパクトをもたらすと思われる。多方面での活用をご検討いただきたい。また、ネットワークの超高速性・高機能性を活用するためのアイデアソンを本年度後半に予定している。
  - JHPCN（学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点）でも、SINET5 が提供する広帯域ネットワークの利用を前提とした大規模データ・大規模ネットワークを利用する共同研究の公募を行っている。引き続き連携を密に進めたい。
- ・ 教育・研究活動におけるネットワークの重要性は著しく高まっており、ごく短い通信断でも学内への影響は甚大である。例えば、通信機器障害における緊急メンテナンスに際して、SINET から各機関への連絡が退勤時刻間際になされれば、学内周知もままならず混乱が生じる。迅速な解析・速やかな連絡体制が不可欠である。

### 2. クラウド導入・利用支援計画

合田委員から、資料 4 に基づき、クラウド導入・利用支援計画について報告があった。

- ・ 学認クラウド 導入支援サービスの利用は、必ずしも機関全体で参加・利用する必要はなく、部局等の単位でも可能である。各大学で個々に工夫する必要がないものは、集約するのが適切であり、また、長期的な視点で見れば、計算等の資源利用において十分な効率化が図られることは明らかである。また、クラウドを利用した自由闊達な実験結果等を参加機関の共有知にできれば有意義である。引き続き、広範な利用をご検討いただきたい。

### 3. 大学間連携に基づく情報セキュリティ体制の基盤構築

高倉委員から、資料 5 に基づき、大学間連携に基づく情報セキュリティ体制の基盤構築について報告があった。

- ・ 情報セキュリティは、どの機関もが満足できる対応は困難であると同時に、対応主体が無ければ状況は改善しない。極めて難しい課題であることを共通認識とした上で、大学と NII とで解を一緒に模索していきたい。
- ・ 生データは、暗号化し一カ月間保存する。大学側の同意がなければ NII は開くことはない。技術職員向けの研修会は 1 日とし、その後の遠隔サポートで、同じ画面を見ながら理解を深めていただく想定である。インシデントの多寡は大学により異なるため、必要に応じ模擬的なインシデントを発生させる研修も検討している。
- ・ 学内での円滑な合意形成のため、試行後の本運用時の費用負担や、通信秘密の確保について言及できないか。また、意思決定権者向けの配布資料がほしい。
  - 本運用時の費用負担：各機関に負担にならないよう努力しており、また、里見 国立大学協会会長からも強いメッセージをいただいているが、現状ではまだ、2,3 年後までを明確に見通すことはできない。
  - 通信秘密の確保：何を秘密の対象とするかで議論を深めている。IP アドレスや統計値（例：マルウェア感染した機関数）等も、機関によっては機微に捉える場合がある。
  - 資料：11～12 月に全国説明会を予定しており、近々に配布予定である。
- ・ NISC（内閣サイバーセキュリティセンター）から、この基盤構築の推進に期待していると聞いた。例えば、攻撃が同時多発かどうかの判断など、長期間に亘る観測を経なければ十分に対応ができないこともあり、必要性は明白に思われる。

### 4. 各作業部会報告

#### 4.1. ネットワーク作業部会

漆谷主査から、資料 6.1 に基づき、活動報告があった。

- ・ 欧州回線の使用率が高く、今後も Belle II や LHC 等の実験でトラフィック増が見込まれる。また、eduroam JP（認証作業部会の閉会に伴い、ネットワーク作業部会へ移管）の広範な利用に向け、広報の充実や意見交換のためのコミュニティ形成を検討したい。

#### 4.2. クラウド作業部会

合田主査から、資料 6.2 に基づき、活動報告があった。

- ・ クラウド調達は、電子ジャーナルにおけるナショナルライセンスの様に、今後、重要な課題になるので議論していきたい。

#### 4.3. セキュリティ作業部会

高倉主査から、資料 6.3 に基づき、活動報告があった。

- ・ セキュリティは機関全体に関わる問題であり、構成員全体への周知・理解が不可欠である。年度内のシンポジウム開催を検討している。
    - ▶ 各大学には、CISO/CIO や役員の十分な理解が重要であること、NII は人材育成を担うが各大学の実務を代行し得ないこと等を、誤解無く理解いただく必要がある。
- また、同部会が、情報セキュリティ体制の基盤構築に対して抑制・監視する必要があるとの認識のもと、高倉主査から岡部委員への主査交代が付議され、承認された。

#### 4.4.セキュリティポリシー推進部会

曾根主査から、資料 6.4 に基づき、活動報告があった。

- ・ 統一基準の改定、クラウドサービス活用、情報セキュリティ体制基盤構築の動向等を踏まえたサンプル規程集の更新や、情報セキュリティ教材の修正等を進めている。

### 5. その他

#### 5.1. リサーチデータ基盤高度化

山地准教授（陪席：国立情報学研究所）より、資料 7 に基づき、説明があった。

- ・ 研究不正対策のためデータ保存期間が定められたが、オープンサイエンスと重なる部分が多い。このため、共通的に利用可能な基盤を先導的に使えるよう検討している。

#### 5.2. 学術情報基盤オープンフォーラム活動報告

事務局から、資料 8 に基づき、学術情報基盤オープンフォーラムの活動報告があった。

#### 5.3. その他

特になし。

以上